

**VIRTUAL ART BOOK FAIR****今年のゲストカントリーは、デザイン大国 オランダに決定！**

今年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止の観点から東京都現代美術館での TOKYO ART BOOK FAIR（TABF）の開催を見送り、11月16日（月）～23日（月・祝日）まで東京都現代美術館の建物をインスピレーション源としたバーチャル空間でのアートブックフェア VIRTUAL ART BOOK FAIR（VABF）として開催いたします。TABFでは、2015年より毎年ひとつの国やエリアの出版文化に焦点を当てる連続企画「Guest Country」をスタートしました。これまでにスイス、ブラジル、アジア4カ国（中国、韓国、台湾、シンガポール）、アメリカを特集。それぞれの特徴に合わせたプログラムを行ってきました。VABFでも「Guest Country」を継続し、第5回を迎える本企画でフィーチャーするのは、デザイン大国オランダです。オランダの出版社やアーティストがVABFに出展する他、オランダのアートブックシーンを紐解く4つの展覧会やトークショーを開催いたします。

## [ 展示 ]

## EXHIBITION 1: “Best Dutch Book Designs”



1926年に設立された「Best Dutch Book Designs（BDBD）」は、ヨーロッパで最も長い歴史をもつオランダのブックデザインアワードです。オランダ人もしくはオランダを拠点とするデザイナーによって作られたアートブック、児童書、料理本など幅広いジャンルを対象としています。本展では、ハンス・グレメンがデザインしたアンドレ・ゴンザレスの『American Origami』、樋口歩が手がけた桑原真理子著『Burning Love』をはじめとする2019年の受賞作33点をご紹介します。

協力：Stichting De Best Verzorgde Boeken

関連トークショー：「The Best Dutch Book Designs - オランダのブックデザインをめぐって」

日時：11月20日（金）16:30 – 18:00

本トークでは、BDBD代表のエステル・ショルテン／Esther Scholten、選考委員会議長のエールコ・ファン・ウェーリ／Eelco van Welie（NAI010 Publishers ディレクター）と、グラフィックデザイナーのトマス・カストロ／Thomas Castro（アムステルダム市立美術館グラフィックデザイン部門キュレーター

一) をゲストとしてお招きします。オランダのブックデザインの歴史や、どのような点に着目して審査しているのかなどを話していただきます。Web サイト『The Graphic Design Review』編集長である室賀清徳がモデレーターを務めます。

\* 日本語字幕入りの事前収録した約 1 時間のトークを配信した後、17:30 より BDBD 代表のエステル・シヨルテンとの Q&A セッションを予定しております。

## EXHIBITION 2: “Dutch Artists’ Book: Then and Now”

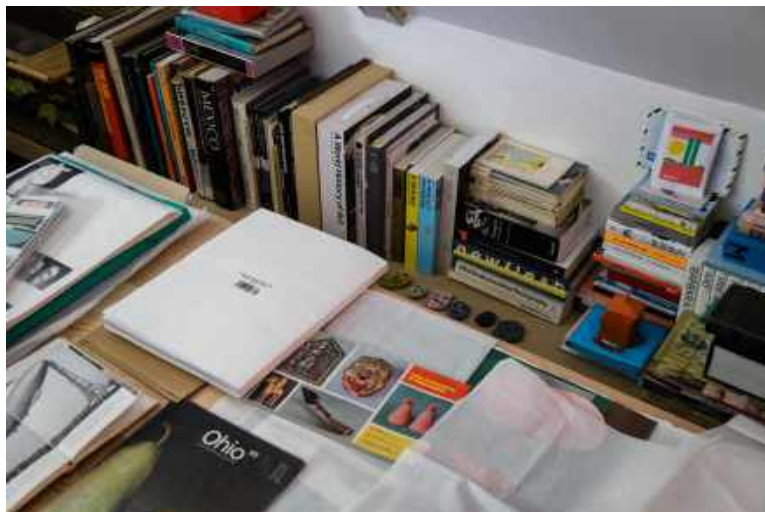


Photo by Shinji Otani

2019 年に作り手たちの言葉によって日本におけるアートブックの進化を紐解いた「Japanese Artists’ Book Then and Now」のオランダ版。今回は現代のオランダ出版文化を牽引するキーパーソンたちのアートブックとの出会い、またその原体験がどのように現在の制作へと繋がっているかを尋ねたインタビュー動画とともに、彼らが影響を受けた本と手がけた多様な印刷物をオンライン上でご紹介します。インタビューでは、どのようにオランダのアート出版が豊かな発展を遂げたのか、アーティスト、デザイナー、書店の関係性、アイデアを本というプラットフォームに落とし込むユニークなアイデア、コロナ禍におけるクリエイティビティの役割などがパーソナルな経験とともに語られています。

参加予定のアーティスト & デザイナー

アーマンド・メーフィス (Mevis & Van Deursen)

イルマ・ボーム / Irma Boom

エクスペリメンタル・ジェットセット / Experimental Jetset

エリック・ケッセルス / Erik Kessels

カレル・マルテンス / Karel Martens

クララ・ヴァン・ダウクレン & ヴィンセント・スキッパー / Klara van Duijkeren & Vincent Schipper  
(Studio The Future)

クリスチャン・メンデルツマ / Christien Meindertsma

ハンス・グレメン / Hans Gremen (Fw: books)

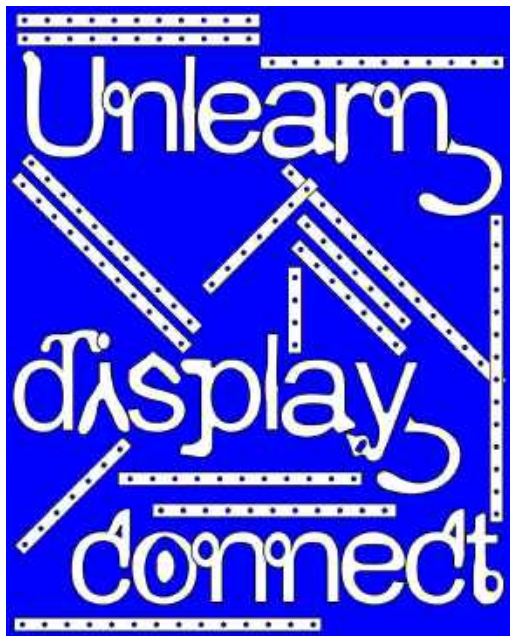
マーク・マンダース / Mark Manders

ヤン・フォス / Jan Voss (Boekie Woekie)

ルース・ファン・ビーク / Ruth van Beek

ロジャー・ヴィレムス / Roger Willems (Roma Publications)

### EXHIBITION 3: fanfare “Unlearn, Display, Connect”



グラフィックデザインにおける様々な分野を横断するためのプラットフォームを目指すデザインスタジオ fanfare が企画する展覧会。デジタル化によって文化や国境を超えた出版が活性化する現代における「オランダデザイン」とは何か。その問いに答えるために fanfare は「Learning (学習)」「Displaying (陳列)」「Connecting (接続)」というキーワードを設けました。それぞれのキーワードごとに行われた鼎談や作品展示を通じ、今日のオランダにおけるグラフィックデザインを探求します。

協力：fanfare

### EXHIBITION 4: Rafaël Rozendaal “Shadow Objects Sculpture Park”



© Rafaël Rozendaal

VABFのメイン会場は、東京都現代美術館を模した建物です。その”屋外”には、ネットアートのパイオニアとして活躍するオランダ人アーティスト、ラファエル・ローゼンダールによるデジタル彫刻「Shadow Object」が並ぶ公園が広がります。デジタル素材からオブジェクトが切り抜かれ、オブジェクトの不在によって生成された「Shadow Object」は、イメージ、オブジェクト、ドローイング、彫刻の間を横断する作品として成立しています。これまでローゼンダールは、デジタルとフィジカルを最短距離でつなぐ手法として、長方形のスチールプレートをコンピューターによってコード化された形で切り抜き、フィジカルな作品として「Shadow Object」を発表してきました。VABFでは、来場者がブラウザ上の公園を自由に動き回ることによってインタラクティブになる、大規模な空間インスタレーションとして展示します。

オブジェクトが切り取られたスペースに光が差し込み、芝生に影を落とすことで、不在であるイメージが浮き上がってきます。デジタルの領域ではその影が非物理的で仮想的なモノに存在感を与え、グラフィックソフトによってマスクと背景、オブジェクトの有無を瞬時に切り替えることができます。新作「Shadow Objects Sculpture Park」では、オブジェクトの不在とその影が生み出す「Shadow Object」を通して、私たちが日々触れているオンライン上の喧騒や情報過多に対抗しています。

協力：Takuro Someya Contemporary Art

## VIRTUAL ART BOOK FAIR

日時：2020年11月16日（月）～23日（月・祝）

会場：<https://virtualartbookfair.com/>

共催：一般社団法人東京アートブックフェア、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

協賛：富士ゼロックス株式会社、三菱地所株式会社、株式会社イニユニック、理想科学工業株式会社

助成：オランダ王国大使館、DutchCulture オランダ国際文化協力センター

協力：Creative Industries Fund NL、オランダ文学基金、モンドリアン財団

広報に関するお問い合わせ:鳥海陽子 [press@tokyoartbookfair.com](mailto:press@tokyoartbookfair.com)